

未来の光

学校 HP <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadahipo/>

次年度に向けて、検討を進めています

現在、子どもたちの学びを支える学校に関するあらゆる業務、学校行事や教育課程、成績評価等について、本年度のふりかえりを行い、次年度に向けて、より学びの環境づくりという視点で改善すべき点を検討しています。そのなかで、現時点で、前もってお伝えしておく方がよいと判断する点が3点あります。

1 点めは、一単位授業の時間について。2 点めは、モジュール学習について。3 点めは、校時表についてです。今後、検討を重ね、詳細については改めてお伝えいたします。

(1)45 分授業に

本年度コロナウイルス感染拡大による臨時休業等に伴う措置として、県及び市教育委員会より照会のあった 40 分授業について本校として採り入れましたが、次年度に関しては通常の 45 分授業に戻します。「めあて・ふりかえり」を丁寧に行い、学びの充実を図ります。

(2)モジュール学習を 2 本の帯に

現行、「朝の学習タイム」と称して、8:30 から 8:45 までの 15 分間を「モジュール学習」として、国語の新出漢字の獲得や既習漢字の定着に活用しています。

モジュール学習(短時間学習)では、繰り返し学習による基礎的な知識・技能の定着や生活リズムの形成などがそのメリットとしてあります。

本校では、この考え方により「学習量の確保」という視点から、朝の学習タイムに加えて、昼休み後、5 校時の前に、もう一つ 10 分間の「昼の学習タイム(モジュール学習)」を本年度より実施していますが、次年度も引き続き実施します。

本校では、子どもたちの「学力向上」という視点から、2 本のモジュール学習を、校時表に位置づけ、進めてまいります。



(3)校時表について

これに伴いまして、令和3年度は、4 月より、**現行の下校時刻より変更があります。**

つきましては、私教育として習い事や塾に通っているお子さまもあるかと思われますので、趣旨ご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。詳細については、3 月 5 日、別途文書にてお知らせいたします。

下校時刻の変更に伴い、学校安全協力員のみなさまによる見守りも、連動して対応していただくことになります。

健康観察カードは継続します

3 月も継続します。
毎朝の検温、健康観察、健康観察カード記入・提出を引き続きお願いします。



きんたくん学びの道場については、3 月より再開いたします。
水曜日が 4・6 年生、
金曜日が 4・5 年生
として、会場を学年ごとに分けて行います。



3月の行事予定

1日(月)～5日(金):C週

3日(水)6年生を送る会(オンライン)
きんたくん学びの道場(4・6年)

4日(木)委員会活動

5日(金)入学説明会
きんたくん学びの道場(4・5年)

8日(月)～12日(金):B週

10日(水)卒業式に向けて体育館使用禁止
きんたくん学びの道場(4・6年)

12日(金)図書返却
きんたくん学びの道場(4・5年)

15日(月)～19日(金)

17日(水)卒業式準備

18日(木)卒業式

19日(金)給食最終日



22日(月)～26日(金)

22日(月)新入生体操服・給食着販売

25日(木)修了式

26日(金)春季休業
～4月6日(火)

4月7日(水)始業式

8日(木)入学式



年間標準授業時数を上回る見通しができたため、1・8・15日の月曜日については1・2年生同様3～6年生も5校時まで、5・12日の金曜日についても全学年5校時までとします。

段階的に解除していきます

本県に出ている緊急事態宣言も解除されるかという動きがあるようですが、これまで、文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.12.3Ver.5)」に基づき、その活動を控えておりました音楽科授業における「合唱」について、学習活動の保障の観点から、下記の感染予防対策を講じたうえで、宣言解除後、実施することといたします。

- 歌唱時であってもマスクは着用する。
- 2グループに分かれ、家庭科室(廊下)に移動する。適宜 Zoom など使用する。
- 児童間は前方向 1.2m程度あける。
- 指導者は、不織布マスクを着用し、適切な距離を取り指導する。
- 全員が立って一方向を向く。
- 無理のない頭声発声で歌うよう指導する。
- 連続した練習時間は 10 分とし、5 分以上の換気を行う。
- 常に換気を行い、入退室時は手洗い消毒を徹底する。

同様に、これまで控えていた「学年集会」についても、感染予防対策をしっかり講じたうえで行います。

尚、今後、国や県、市教育委員会より新たな指針が出た場合は、それらに基づき変更することもあり得ることを申し添えます。

夢見月 ～草木と一緒に見る夢～

三月の異称といえば、まず「弥生」ですね。語源は、木草弥生月(きくさいやおいづき)が変化したものということです。「弥」は、「ますます」とか「いよいよ」という意味ですから、木や草がますます生い茂る月ということになります。

その月に咲く代表的な花が季節の呼び名になることも多く、桃月、桜月という呼び方もあります。そう、旧暦では、桜が咲くころですから、花咲月(はなさきづき)、花見月ともいいました。

桜のことを夢見草ともいいます。そこから夢見月とも呼ばれるようになりました。

日に日に暖かくなり、春を迎える喜びが、一番感じられる月です。

新しい芽をふき、次々と花を咲かせる草木たち。それにつられて、私たちも、美しい夢を見ることができそうですね。

※「美人の日本語(山下景子著)幻冬舎」より引用